

令和4年度 印西市民アカデミーだより 第7号

講座 7：市民活動について学ぶ①

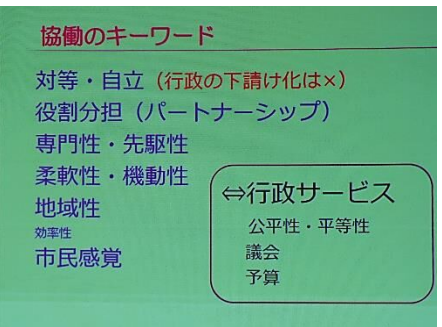
8月5日(金)、印西市役所市民活動推進課の職員を講師に招いて「市民活動」について学びました。印西市民アカデミーでは、卒業後、アカデミーで学んだことを活かして、市民活動やボランティア活動等に積極的に参加して、印西市の発展に寄与するという大きな目標があります。今回は、①市民活動/NPOとは？ ②印西市の取り組み ③「公共サービスは誰が担うべき？～市民と自治体の役割分担について考えよう～」の三部構成で市民活動の基礎・基本について学びました。



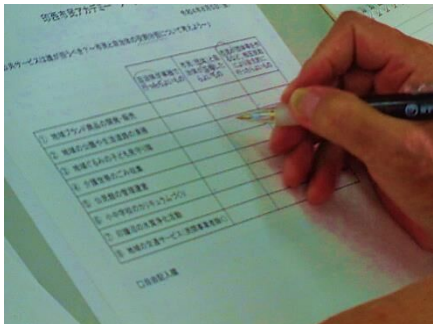
①市民活動とは、市民が互いに協力し(団体)、地域社会のさまざまな課題に向かって(課題解決)、主体的・自主的に取り組む(自発的)、営利を目的としない(非営利)、開かれた活動(公開)。(ただし、宗教、政治、選挙活動を除く) 近年、市民ニーズの多様化や新しい地方分権社会の創造、複雑化する地域課題に対応するため NPO との協働による行政サービスの提供が推進されるようになりました。



②印西市では、平成13年6月に「印西市市民活動支援センター」が設置されました。同16年6月には「印西市市民活動推進条例」を施行し、市民活動の支援にあたっています。同19年1月には、「公益信託印西市まちづくりファンド」を設置し、市民活動団体への資金の支援を行っています。さらに同17年度からは、市と提案団体で協定を結び、市の委託事業として実施する「企画提案型協働事業」が始まりました。



③協働事業の重要ポイントの説明を受けた後、ワークシート「公共サービスは誰が担うべきか？～市民と自治体の役割分担について考えよう～」に整理して各自が考えてみました。8項目(1地域ブランド商品の開発・販売、2地域の公園や生活道路の清掃…)をA自治体、B自治体と市民の協働、C市民(団体)の3つに分類します。分類してみると様々な考えや意見があることがわかりました。



結論：市民活動は「学ぶ」ものでなく「参加」するもの。